

春眠、就活を覚えぬ

鬼木元子

お母さんが作った大根サラダの仕上げに涙を

(それはそれは大粒の涙を)

さよなら文春

デスクトップからワンクリックでわたしを祀る神社へ

あ、こめかみのニキビと乳化リンスは怪しい関係らしい  
本を手にとるとまず出版社を確認するクセがつかまりました

(もういらぬのに)

まぶたの開かない朝

はじめて独り占めしたポップコーン

(「私の強みは……」)

手放さないわたしだけのマイク

(「本日は貴重なお時間をいただき……」)

増えて減らないやりたいことリスト

GWの大手町はゴーストタウン

そして、世界に一人だけのわたし

業務用エレベーターの唸り声 ピーコとNHKニュース 黒い指先

文字しか知らないあの人の声は、わたしにしか聞こえない

冬が明けてイチゴの足は早くなった

男を追ったあの山姥を追って

くもりのちはれ わたしの、はる